

+.....+

【ケアプロ通信vol.72】

10月度ニュース: 楓の風と共同で訪問看護のパンフレットを作成しました！

+.....+

---

いつも大変お世話になっております。

日ごとに、秋が深まっていると感じます。

北海道では紅葉が見頃を迎えて、山は白く雪化粧をしたというニュースがありました。

数年前にオープンしたロボットの数を目玉にしたホテルは、

ロボットのメンテナンスでの従業員の負担が増えたそうで、

「ロボットからの脱却」と大きく報道されていました。

ロボットの発展は雇用を減らすのでは？という考えもあるようですが、

ヒトとうまく共存して、業務効率化が図れれば最適ではないでしょうか。

今、世間を騒がせている「データ改ざん」も、ヒトがやるから「改ざん」されて

ロボットにデータ集計をお願いしたら、「改ざん」しようがない、とも

考えられると思いました。

セルフ健康チェックのサービスや、訪問看護では、

お客様・利用者様と、顔をあわせて、目をあわせて、サービスを提供いたします。

私たちが提供することが、最適だと皆さまに感じていただけるよう

雨の日も、風の吹く日も、日々活動をしています。

それでは、10月度のニュースをお届けいたします。

---

+.....INDEX.....+

【1】代表 川添高志 「36歳の誕生日と人事制度」

【2】 予防医療事業部

1) 日経デジタルヘルスに紹介されました！

2) 大阪進出に向けての準備を進めています

【3】 在宅医療事業部

1) 楓の風と共同で訪問看護のパンフレットを作成しました！

+.....+

---

+.....代表 川添高志からのメッセージ.....+

### 「36歳の誕生日と人事制度」

10月7日に36歳となりました。

1歳になるときは、 $1/1=100\%$

36歳になるときは、 $1/36=2.8\%$

自分の中に占める割合は小さくなり、  
時の流れを早く感じます。

一方、人としての価値は、複利です。  
一年で一回転するときに身につく価値は、  
雪だるま式です。

※もちろん理想的な話です

ケアプロでは人事制度を改定しました。

やはり雪だるま式を目指し、  
成長のステップを上がるとそのステップは大きく、  
報酬も多くなります。

人生の人事制度は自分で設計しますので、  
これからの歳月をしっかりと考えて、  
毎日を大切に過ごしていきます。



写真: ケアプロ社員トランプのプレゼント

+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

1)日経デジタルヘルスに紹介されました！

『「行動経済学」はヘルスケアの突破口になるか』というテーマで、セルフ健康チェック×行動経済学について取り上げていただきました。

<https://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/feature/15/070500167/100400002/?ST=health&P=5>

2)大阪進出に向けての準備を進めています

10月に1名大阪の拠点立ち上げのメンバーが、新しく加わりました！



これからの活躍に期待です！

大阪進出に向けた準備の様子をHPで紹介させて頂いております。

<http://carepro.co.jp/preventive/corporation/archives/5510/>

ぜひご覧ください。

予防医療事業部では、健康無関心層にもヘルスケアサービスを全国に届けられるよう様々な取り組みを進めてまいります！

+……………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

1) 楓の風と共同で訪問看護のパンフレットを作成しました！

2025年は目前に迫り、高齢多死社会が到来しています。  
医療費高騰に対して、今後ますます在宅ニーズは高まっています。

そのため、マンパワー拡充のための訪問看護の普及啓発と、  
新人訪問看護師教育の質向上が急務となっていますが、  
一方で、在宅の現場は複雑であり言語化しにくい現状があります。

そうした課題に対してケアプロは、2016年12月より、  
楓の風(※)と共同事例検討会を開始しました。

事例検討を行う中で、ベッドサイドの一つ一つに、  
共感出来るフィロソフィー(哲学)がありましたが、  
言語化するために、抽象化する事が、  
かえって訪問看護の醍醐味を消してしまうと感じました。  
そして、実際に事例を読みベッドサイドを体験してもらう場を  
提供することが、必要であると考えました。

「まずは手に取り、訪問看護を体験してもらう。」  
それを目的として、この度、共同でパンフレットを作成しました。

パンフレットの作成は一つの手段で、ゴールではありません。  
高齢多死社会を救える世の中の仕組みづくりに貢献するため、  
継続した取り組みをしていきたいと思っています。

(※)在宅療養支援楓の風:<http://www.kaedenokaze.com/>

